

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日		校 長 名		所 在 地	
専門学校西鉄国際 ビジネスカレッジ		平成6年3月23日		椎葉 小夜子		〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾1-13-32 (電話) 092-522-3135	
設 置 者 名		設立認可年月日		代 表 者 名		所 在 地	
学校法人西鉄学園		昭和37年2月27日		中尾 和毅		〒816-0922 福岡県大野城市山田3-12-1 (電話) 092-586-2480	
目 的	業界で働く覚悟、国際的なマナーとホスピタリティを身につけ、長期に渡って活躍できる人材を育成する。空港内での予約・発券業務等様々なサービスに臨機応援に対応する航空業界人の育成、自ら考える授業で学生の可能性を伸ばす。						
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与	
商業実務	商業実務専 門課程	エアライン科 グランドスタッ フ	2年(昼)	68 単位	平成23年文部科学 大臣告示第167号	—	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技	
		36 単位	27 単位	単位	10 単位	4 単位	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数	
70 人		69 人		2 人		5 人	
学期制度	■前期： 4/1～7/18 ■後期： 9/21～1/27			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法につ いて 期末試験もしくは実技試験。A:80%以 上、B:60%以上、C:50%以上、D:50%未 満		
長期休み	■夏 季： 7/19～9/20 ■冬 季： 12/16～1/11 ■学 年 末： 1/28～3/31			卒業・進級条 件	進級・卒業判断時に所定の単位以 上取得し、期日までに学費を納 入すること。		
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話、対面での面談			課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動 (有・無)		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 航空、鉄道、旅行業界 他 ■就職率 ^{※1} 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 88.8% ■その他(任意) (平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の 情報)			主な資格・検 定	AXESS検定 サービス接遇検定 実用英語技能検定 他		

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 4名 ■中退率 5%</p> <p>平成27年4月1日在学者 80名 (平成27年4月入学者を含む) 平成28年3月31日在学者 76名 (平成28年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更、経済的困窮、意欲減退、単位不足</p> <p>■中退防止のための取組 担任、学科長との面談、スクールカウンセラーによる対応</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: www.ibc.ac.jp/</p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育の質の保証及び改善をするため、教育活動の状況に関する評価を行い、業界の要請を十分にいかしつつ実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年10月1日現在

名 前	所 属
室井 高	合同会社博多ホールディング ホテルセントラーザ博多 総支配人
梅野 一生喜	株式会社西鉄シティホテル 婚礼部 部長
古川 眞也	九州旅客鉄道株式会社 旅行事業本部 企画課 課長代理
清水 妙子	株式会社JALスカイ九州 総務部 マネージャー
河野 浩一	株式会社JALグランドサービス九州 ランプサービス部 ランプサービス3課 課長
古川 徹	JR九州鉄道営業株式会社 専務取締役
山方 浩	公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー 事務局長
林 孝一	公益財団法人産業雇用安定センター 福岡事務所 参与
伊藤 潤	教務部長 (鉄道科学科長兼)
田才 亜紀子	学科長 (ホテル科・ブライダル科)
藤田 祐子	学科長 (トラベル科)
久保田 博子	学科長 (エアライン科・エアポート科)

(開催日時)

第1回 平成28年6月2日 10:00~12:10

第2回 平成28年9月27日 13:00~15:10

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

後継者育成の一環として技術等を学ぶ学生に実務の経験を積極的に提供し、受入の実績がある企業を選定する。学校が教育している技術等の習得が可能でかつ後継者の育成に力をそそぐ企業への新規開拓も実施している。

科目名	科目概要	連携企業等
企業実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ	授業で学習した理論と実技の一体化を目的とし、社会人としての厳しさ、基本的な業界の知識、サービスや技術の習得を目的とする。	(株)JALスカイ九州 ANA福岡空港(株) (株)エヌエス 西鉄エアサービス(株) 九州 産交ツurisム(株) 南国交通(株) (株)旅 行綜研 総数7社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

職務の遂行に必要な知識及び技能等を習得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図る。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年10月1日現在

名 前	所 属
室井 高	合同会社博多ホールディング ホテルセンターザ博多 総支配人
梅野 一生喜	株式会社西鉄シティホテル 婚礼部 部長
古川 眞也	九州旅客鉄道株式会社 旅行事業本部 企画課 課長代理
清水 妙子	株式会社JALスカイ九州 総務部 マネージャー
河野 浩一	株式会社JALグランドサービス九州 ランプサービス部 ランプサービス3課 課長
古川 徹	JR九州鉄道営業株式会社 専務取締役
山方 浩	公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー 事務局長
林 孝一	公益財団法人産業雇用安定センター 福岡事務所 参与
井上 武之	篠栗町教育委員長 (高等学校校長経験者)
松藤 大助	日本郵便株式会社 竹下郵便局 局長 (卒業生)
椎葉 小夜子	理事 校長
井上 透	総務部長
伊藤 潤	教務部長 (鉄道科学科長兼)
田才 亜紀子	ホテル科・ブライダル科 学科長
藤田 祐子	トラベル科 学科長
久保田 博子	エアライン科・エアポート科 学科長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: www.ibc.ac.jp/

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: www.ibc.ac.jp/

授業科目等の概要

(商業実務専門課程エアライン科グランドスタッフ) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			空港実務	国内線および国際線の基礎知識や旅客の流れを学ぶ	1 通	48	2	○	△	
○			実習前教育Ⅰ	実習先企業・実習内容の紹介 実習時に必要なルール・マナーやスキルを学ぶ	1 前	24	1	○		
○			実習前教育Ⅱ	実習に必要な専門用語・施設について学ぶ	1 前	24	1	○	△	
○			航空業界研究	航空業界の職種・業務内容を学ぶ 航空業界の歴史・現状・問題点等理解する	1 通	48	2	○		
	○		第2外国語 (中国語・韓国語)	中国語または韓国語の会話能力を習得する	1 通	48	2		○	
○			日本語表現	基礎言語力を伸ばし、接客対応に必要な日本語表現を学ぶ	1 通	48	2	△	○	
○			オーラルイングリッシュ	演習を通して英会話能力を身につける	1 通	48	2		○	
○			英語検定対策Ⅰ	実用英語技能検定の合格を目指す	1 通	48	2	○		
○			英語検定対策Ⅱ	英文法を主に学び、実用英語技能検定の合格を目指す	1 通	48	2	○		

授業科目等の概要

(商業実務専門課程エアライン科グランドスタッフ) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			空港英語	航空業界で使う英語を習得し、英語での接客、アナウンスを学ぶ	1 通	48	2	○	△	
○			コミュニケーション学	コミュニケーション力を伸ばす	1 前	24	1	○	△	
○			ビジネスマナー	社会人としてのビジネスマナーを習得すると同時に、日常生活に必要なマナーを身につける	1 通	48	2	○	△	
○			AXESS	日本航空予約システムの基本操作を習得し、検定合格を目指す	1 通	48	2		○	
○			ビジネス検定対策	ビジネス能力検定試験合格を目指す	1 通	48	2	○		
○			就職活動講座	就職活動の流れを知り、自己分析を行い、就職できる力をつける	1 通	48	2	○	△	
○			SPI 言語対策	就職試験における筆記試験(言語能力検査)に合格できる力を習得する	1 通	48	2	○		
○			SPI 非言語対策	就職試験における筆記試験(非言語能力検査)に合格できる力を習得する	1 通	48	2		○	
○			ビューティ／SPI	ビジネスメイク技術の習得／ 就職試験筆記対策	1 前	24	1	△	○	

授業科目等の概要

(商業実務専門課程エアライン科グランドスタッフ) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			コンピューター	文書作成・表計算の基礎知識を習得する	1 通	48	2		○	
○			LHR	学校生活における調和と自己啓発を図る	1 通	48	2		○	
○			キャビンサービス	客室乗務員の業務について学ぶ	1 後	24	1	△	○	
○			グラハン業務入門	ランプ・貨物業務について学ぶ	1 後	24	1	○	△	
○			面接対策	就職試験における面接試験に合格できる力を習得する	1 後	24	1		○	
○			ペン字	美しく読みやすい字とバランスを学ぶ	1 後	24	1		○	
○			行事Ⅰ	行事によって調和と自己啓発を図る (初年次教育Ⅰ・Ⅱ、新入生合宿Ⅰ・Ⅱ、スポーツデー、業界見学)	1 前	36	1	△	△	○
○			行事Ⅱ	行事によって調和と自己啓発を図る (業界見学、スピーチコンテスト、ボウリング大会、就職模擬面接・試験、就職強化セミナーⅠ・Ⅱ)	1 後	36	1	△	△	○
○			企業実習Ⅰ	空港現場において、学校で習得した知識を活かし、技術向上を図り、業界への理解を深める	1 後	36	1			○

授業科目等の概要

(商業実務専門課程エアライン科グランドスタッフ) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			企業実習Ⅱ	空港現場において、学校で習得した知識を活かし、技術向上を図り、業界への理解を深める	1 後	36	1			○
○			企業実習Ⅲ	空港現場において、学校で習得した知識を活かし、技術向上を図り、業界への理解を深める	1 後	36	1			○
○			企業実習Ⅳ	空港現場において、学校で習得した知識を活かし、技術向上を図り、業界への理解を深める	1 後	36	1			○
○			企業実習Ⅴ	空港現場において、学校で習得した知識を活かし、技術向上を図り、業界への理解を深める	1 後	36	1			○
○			観光地理	国内・海外の観光地理を習得する	2 通	48	2	○		
○			エアラインビジネス	航空会社の組織と業務内容・社会的責任・航空会社の社員に求められる資質を身につける	2 前	24	1	○		
○			GS受験対策	グランドスタッフ受験のスキルアップ	2 前	24	1		○	
○			TOEIC/ 英検対策	TOEIC 試験にて目標スコアを目指す/ 実用英語技能検定の合格を目指す	2 前	24	1	○		
○			観光英語	航空・観光系の英語表現を学び、会話力を習得する	2 通	48	2	○	△	

授業科目等の概要

(商業実務専門課程エアライン科グランドスタッフ) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			就職活動講座 I (面接対策 ／就職活動講 座)	就職試験における流れを知り、就職試験に合格できる力を習得する	2 前	24	1	○	△	
○			就職活動講座 II (面接対策 ／就職活動講 座)	就職試験における流れを知り、就職試験に合格できる力を習得する	2 前	24	1	○	△	
○			SPI対策I (言語／非言 語)	就職試験における筆記試験に合格できる力を習得する	2 前	24	1	○	△	
○			SPI対策II (言語／非言 語)	就職試験における筆記試験に合格できる力を習得する	2 前	24	1	○	△	
○			手話	演習を通して手話能力を習得する	2 前	24	1		○	
	○		第2外国語 (中国語・韓 国語)	中国語または韓国語の会話能力を習得する	2 前	24	1		○	
○			コンピュ ー ター	Excel 及び Word の使い方を習得する	2 通	48	2		○	
○			LHR	学校生活における調和と自己啓発を図る	2 通	48	2		○	
○			航空業界筆記 試験対策	航空業界就職試験における筆記試験に合格できる力を習得する	2 前	24	1	○	△	

授業科目等の概要

(商業実務専門課程エアライン科グランドスタッフ) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			航空機概論	航空機の機体構造・運航システムを学ぶ	2 後	24	1	○		
○			航空業界入社 前教育	航空業界の新社会人として必要なマナーを習得する	2 後	24	1	○	△	
○			コミュニケー ションイン グ リッシュ	英語を使ったコミュニケーション能力を習得する	2 後	24	1		○	
○			社会情勢研究	新聞を通じて社会情勢を理解する	2 後	24	1		○	
○			ユニバーサル サービス	ユニバーサルサービスの基本を学び、お客さまに応じた正しい介助方法を習得する	2 後	24	1	○	△	
○			行事Ⅲ	行事によって調和と自己啓発を図る (実習前教育、実習後教育、春期ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)	2 前	36	1	△	△	○
○			行事Ⅳ	行事によって調和と自己啓発を図る (最終模擬面接、心肺蘇生法講座、スポーツデー、夏期ゼミ、スピーチコンテスト、ボウリング大会)	2 後	36	1	△	△	○
○			企業実習Ⅵ	空港現場において、学校で習得した知識を活かし、技術向上を図り、業界への理解を深める	2 前	36	1			○
○			企業実習Ⅶ	空港現場において、学校で習得した知識を活かし、技術向上を図り、業界への理解を深める	2 前	36	1			○

授業科目等の概要

(商業実務専門課程エアライン科グランドスタッフ) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			企業実習Ⅷ	空港現場において、学校で習得した知識を活かし、技術向上を図り、業界への理解を深める	2 前	36	1			○
○			企業実習Ⅸ	空港現場において、学校で習得した知識を活かし、技術向上を図り、業界への理解を深める	2 前	36	1			○
○			企業実習Ⅹ	空港現場において、学校で習得した知識を活かし、技術向上を図り、業界への理解を深める	2 前	36	1			○
合計					57 科目	2,016 単位時間(77 単位)				

卒業要件及び履修方法

卒業要件：68 単位
 学生の単位取得不可を予め見込んで、規定単位に若干の単位を上乗せすることで総単位を増やした。